

「地図豆」の地図を広げて街歩き

### 75-1 武蔵小山・戸越銀座商店街周遊（距離約 3.5km）



武蔵小山商店街

長一一いアーケードが連なる武蔵小山商店街は、アーケード発祥の地とか。そしてこれに連なる戸越銀座商店街は、日本各地にある〇〇銀座始まりだとか。

#### 【道順】

東急目黒線武蔵小山駅→梵鐘庚申供養塔→武蔵小山商店街→戸越地藏尊→戸越銀座商店街 →戸越八幡神社→戸越公園→大井町線戸越公園駅 距離 3.5km)

## コースマップ



### 【街歩き解説】

- ・ **武蔵小山商店街と朝日地蔵**：江戸時代から大正初期までは、付近一帯は畑や竹藪、雑木林だった。ただし、中原街道から分岐する目黒不動尊への参詣道のみが賑わっていて、玉川上水から分岐する品川用水が流れ、この用水路と目黒不動尊参詣道が交差する地点がその中心である。

交差点付近には当時を偲ばせる朝日地蔵尊が残っている。昭和31年12月に第1アーケード完成(全長470m)し、「東洋一のアーケード」として話題を集めたという。アーケードは拡張され、現在は全長約800mの長さになっている。

- ・ **戸越地蔵尊**：戸越不動尊は、子育て地蔵として古くから信仰されている。石造地蔵菩薩供養塔、石造庚申供養塔などが並ぶ。
- ・ **戸越銀座商店街**：戸越銀座は東京都品川区豊町および、戸越、平塚にまたがる戸越銀座

通りに沿った商店街で、3つの商店街からなっている。全長約1.3kmにわたる関東有数の長さの商店街である。なおメディアなどでは、日本一長い商店街であると紹介されることもあるが、実際は大阪・天神橋筋商店街の約2.6kmが最長とされる。

- ・ **戸越八幡神社**：境内には、「戸越」の地名の始まりを記す古歌の碑がある。  
「江戸越えて 清水の上の成就庵 ねがひの糸の とけぬ日はなし」  
そして、社殿内には 安政四年（1857）以降の絵馬が多数掲げられている。
- ・ **戸越公園**：一帯は江戸時代初期の寛文年間に熊本藩主・細川家の下屋敷があったところで、後に細川家の戸越屋敷として屋敷や回遊式庭園などが整備された。  
その後、明治期まで複数の所有者の変遷を経て1890年に三井家に移った。1932年には三井家から後の品川区に庭園部分が寄付され、1935年に東京市立戸越公園となった。  
江戸時代の回遊式庭園の雰囲気良好に保たれている。

+ \* \* \* + オフィス 地図豆 yamaoka mitsuharu + \* \* \* +